

ふたかみ NEWS プチトマト

節分



2月3日は、「節分の日」ということなので、各事業所で様々な鬼が山からやってきました！！
「鬼は外！福は内！」と言いながら、恒例のマシュマロを投げ、今年も鬼を追い払うことができました！！（阪本）

福は内
鬼は外

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者：石本悦二 編集責任者：関口奈緒美



古着市

ふたかみ福祉会後援会では、感染症対策を行った上で古着市を開催します！是非会場へお越し下さい。

日時：2023年3月21日(火)

時間：10時～13時

会場：翠鳥園横空き地(イズミヤ古市店横)

売り物：古着、靴、かばん

※雨天中止(前日の9時に判断します)

是非会場へお越し下さい♪

*古着の回収、持ち込みなどは現在行っていないのでご了承ください。

このまちで暮らしたい
「障害者生活耕房」(グループホーム)

—建設募金のお願い—

2022年6月openしました！！

新しい暮らしを支える拠点として…

建設募金へのご協力よろしくお願い致します。

◆郵便振替◆

【口座番号】00950-3-225417

【加入者名】社会福祉法人ふたかみ福祉会

◆銀行からゆうちょ振込◆

【金融機関コード】9900 【店番】099 【預金種目】当座

【店名】〇九九店(ゼロキユウキユウ店) 【口座番号】0225417

カフェハピバー 3月の予定

定休日 毎週水曜/日曜

休み 4日(土)
18日(土)
25日(土)

貸し切り 6日(月)午前

*21日(火)は営業しています

★Instagram★

⇒ cafe-hapibar.com

お問い合わせ先

072-958-3232

製菓班 新商品

*フィナンシェ
(プレーン/チョコ) 各100円
*フィナンシェセット 700円

ぜひ お買い求めください(*^^)v

■ボランティア・・・垣内秀夫様、垣内享太様
■アルミ缶回収(1月分)・・・800kg

ありがとうございました

◆2022年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人では新しくグループホーム2ヶ所をたちあげました

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費：1口3,000円 団体会費：1口10,000円】 郵便振替口座：00940-5-325894

今から12年前の3月11日14時46分東日本各地での大きな揺れや大津波、火災などにより東北地方中心に12都道府県で2万²³¹²名の死者・行方不明者が発生した東日本大震災がありました。

震災の後きょうさんへの呼び掛けがあり1週間ほど支援に入りました。交通網も万全ではなかった為大阪から車で行くことになりました。支援当日朝早く大阪を出発し仙台の支援センターに到着したのは夜になっていました。

翌日から石巻を中心に障害のある方がどのように暮らしているのかを地域の避難所を回りながら聞き込みを始めました。

避難所に着くまで車を走らせていると田んぼの真ん中に車が逆さになっていたり、基礎部分を残すだけの建物を見て津波の大きさを実感し、怖さを感じたこと、畑だった場所が延々と土砂やゴミに覆われた景色を見た時には自分に何が出来たのだろうかという無力感に襲われたことを思い出します。

各地域の避難所で「障害のある方は居ませんか」と訪れると行政で聞いた数にはとても及ばない人が避難所以外の所で暮らしているという事がわかってきました。

避難所に来ていない人達の状況を聞くといくつも通っている施設で暮らす方（一応避難所扱いになっているようですが）が避難物品は潤沢ではないようでした。（行動障害などがあり周りに遠慮して車の中で生活している方、被害にあつたまま自宅で暮らしている方など一般の避難所に入れない理由がわかってきました。）

支援に訪れた私たちを温かく迎えてくれ困っているも明るく接してくれる姿、厳しい環境の中で日々の暮らしが戻る為に懸命に努力している姿に元気をもらいました。近い将来自分たちが逆の立場になった時同じように元気を送れるようにしたいと思います。（泉谷）

1月27日・28日に開催されたきょうさん経営管理者総合研修会にオンライン参加しました。

一日目、まずは防衛費が増額される一方福祉予算は現状維持とされるなか、日本はどこに向かおうとしているのか、また福祉関連一括法案のねらいの一つに障害福祉サービスの利用実態をデータベアス化し、介護保険のようにサービス利用の抑制に繋げる事が予想されるなど、情勢について学びました。清末先生から憲法24条、ジェンダーの視点から考える平和について記念講演があり、シンポジウム形式で障害者権利条約の総合的所見を他国の状況、人権モデル、発達保障の観点から深めていきました。

権利条約の総括所見でも温情的主義（パターナリズム）が指摘されましたが、日本社会は旧態依然として、女性が家族に追い込まれていく仕組みから抜け切れていません。ジェンダーギャップをなくしていくことは、古い体制からの

脱却、新たな仕組みが作られていくことで、誰もが尊重される社会へとつながっていくと感じました。その誰もが尊重される社会が、障害者権利条約で示される社会でもあり、私たちが望む社会だと思いました。

二日目は昨日と一転して現実の直面している課題にどう立ち向かっていくか、どのように対策をしているのかなど規模の違う3つの法人から報告がありました。

どんな制度でも収支を把握して黒字の運営は不可避ですが、そこに飲み込まれてしまっていないか、運営の根っこにはしっかりと軸をもち流されないようにしなければいけないと改めて感じました。福祉を誰かの善意や努力に頼ることなく、社会全体として当たり前にあるものにしていくためにも、誰もが人として大切にされる社会は何かをまずは身近ななかまと共にし、それを広く社会全体のものとしていければと思います。そのために、まずは何が起きているどんな影響があるのか、わかりやすく伝えていく力を養っていかねばいけないと強く感じました。（西岡）

販売に行ってみました！

1月13日、藤井寺支援学校のコナバザーに出店しました。コロナの影響で数年開催されていなかったため久しぶりの出店です。支援学校の生徒さん、先生、保護者の方々も楽しんで商品を見て回り買い物を楽しんでいました。ハピパールの仲間が2名参加し商品説明や販売を行いました。知らない人にも「おっ！久しぶり！元気やった？」と声を掛けセールスする姿には思わず笑ってしまいました。が、そのお陰もあり過去最高の売り上げに！自分たちが作った商品を自分たちの手で売る、いい経験になりました。



（大西）

物品販売、頑張っていましたー！

これまで後援会主体の取り組みとしてたくさんの方々に協力いただいています。物品販売ですが、少しでも多くの金額をなかまの工賃に還元したいと考えて、「なかまの仕事」と位置付けて取り組んでいます。注文数のパソコン入力や届いた商品の検品、お客さまへの袋に商品を入れる仕分け作業など、様々な工程を職員と共に取り組んでいます。

現在はバレンタインチョコレート仕分け作業に取り組んでいます。商品の箱を見て、「これ、箱が似てるから間違わないようにせなあかな」。袋に入れる時は「まっすぐに入れないと崩れちゃうぞ」などと、なかま同士でアドバイスをしながら自然に生まれています。注文いただいた商品を大切にお渡ししたいというなかまの気持ちを感じながら、私たち職員も一緒に作業をしています。

Happy Valentine!



この間、新型コロナウィルスの流行で対面での販売が難しくなり、なかまの作った自主製品を知っていただく機会が大き減っていました。物品販売はカタログを見ていただいていた注文になります。そのためコロナ禍でも、季節に合った新商品などを紹介していく機会にしていきたいと考えています！今後とも物品販売をどうぞよろしくお願い致します！（田邊朋）

はるクラブいちご狩り



支援センターはる（南河内北障害者就業・生活支援センター）に登録されていて、現在一般企業に勤めている方々の余暇活動として、あすかいちご狩りパークへ行ってききました！いちご狩りは希望される方も多く、毎年恒例の行事となっています！昨年は吹雪の中であつたため移動が大変でしたが、今年は晴天となりほかほかとしたいちご狩り日和になりました☆

大きないちごにびっくりされる姿や、甘くて美味しいいちごを沢山頬張られる姿も何え、職員も思わずにっこり♪またお土産としていちごを買って帰られる方もおり、大満足のいちご狩りとなりました！今後もみなさんが楽しめる企画を考えていき、休日の楽しみを増やしていくことが出来ればいいなと思います！（大前）

